オフィス®
宅ふぁいる便

ファイル誤送信のリスク対策に重要なStep
～オフィス宅ふぁいる便の有効活用に向けて～

Daigas Group

オージス総研

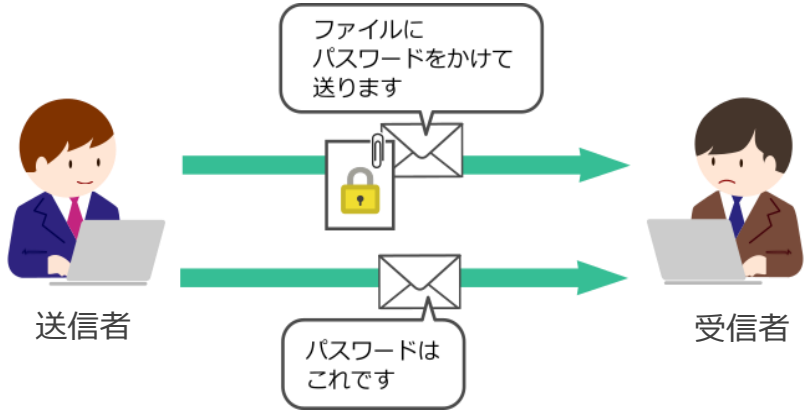
目次

昨今、問題になっている「PPAP」の危険性とは？

？ そもそも「PPAP」って何？

PPAPとは、パスワード付きzip形式の添付ファイルと、暗号化解除用のパスワードをメールで送信すること
下記の頭文字をとってPPAPと略称されています

- P assword付きzip暗号化ファイルを送ります
- P asswordを送ります
- A (あ)ん号化（暗号化）します
- P rotocol（プロトコル＝手順）



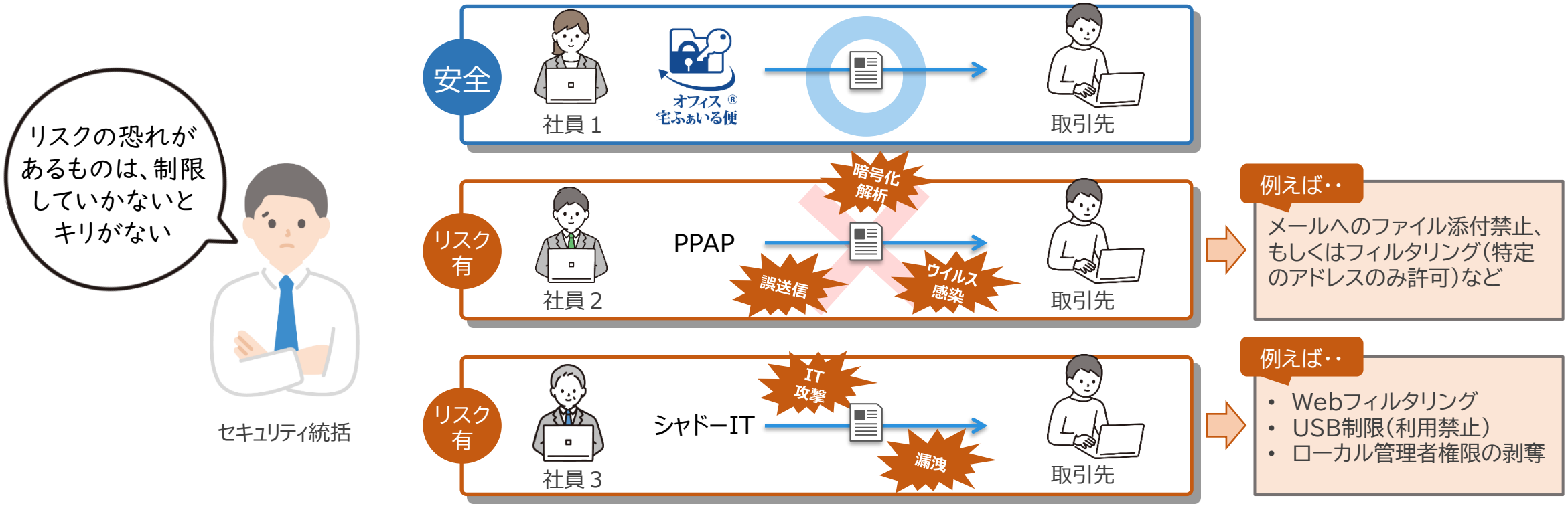
PPAPで発生しうる問題

① 送信先アドレスの指定ミスなどで発生する誤送信
② 悪意のある第三者による盗聴(添付ファイル・パスワード)
③ 添付ファイルの暗号化によりウイルス感染が検知できず受信者に送信されてしまう

上記のような問題があることから、近年は「PPAP」を禁止する企業が増加している

安全な手段を準備するだけではリスクは減らない

社外へのファイル送信に安全な手段を準備しても、それまでの送信方法が利用可能なままでは社員は自分が便利と思う方法を使い続けるため、一向にリスクは減らない
リスクコントロールが難しい送信方法は可能な限り利用制限することが望ましい



ファイル誤送信のリスク対策に向けたStep

この資料にご興味をお持ちいただけましたら、
是非ダウンロードをお申し込みください。

一度お申込みいただくと、オフィス宅ふぁいる便に
関連したすべての掲載資料をダウンロードいただけます。

お申し込み